



2022年2月4日

## 基幹生産工場のリモートオペレーションシステム構築のお知らせ

大陽日酸株式会社（社長：永田研二）ではDX推進による保安や品質管理、生産性向上の推進を、中長期的に取り組むべき課題の一つとしております。今般産業ガス（酸素、窒素、アルゴンなど）生産を行う大型の空気分離装置のリモートオペレーションを可能とするシステムを構築しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 背景

当社はこれまでも、お客様の構内や隣接エリアに設置した小型の窒素ガス製造装置においては、独自開発した遠隔監視システムによる一元的な状態監視（総合監視センター）により、安全・安定供給継続とトラブル発生時の早期復旧に備えるなど、お客様をサポートする運用をしております。

一方、大型の空気分離装置が稼働する生産工場は、工場毎に専門知識を有する保安要員を配置し、24時間体制で操業を行っております。

従来、保安、品質、安定供給を最優先とした操業を徹底しておりますが、今後、生産年齢人口の減少が見込まれる中、より高度なリスク評価に基づく厳格な工場操業が求められ、これまでと遜色のない高度な運転管理を維持できるリモートオペレーションシステムを導入することで、生産性の向上と人的資源の有効活用を実現した工場運営体制が可能となります。

#### 2. 今後の展開

同システムの検証を行い、法的要件を遵守した生産工場のリモートオペレーションの実現を目指します。2023年度にはリモートオペレーションセンター（仮称）を開設し、以後、対象工場（新相模酸素株式会社等）を順次拡大していく予定です。同センターでは総合監視センターで培った遠隔監視技術に加え、IoT、AIをはじめとしたデジタル技術を活用しながら、プラント運転、設備管理、品質管理等を担う構想です。併せて自動で最適運転を行うオートオペレーションにも取り組み、より高度で効率的な操業も推進してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ  
大陽日酸株式会社  
東京都品川区小山1-3-26  
広報部  
TEL:03-5788-8015  
Mail:Tnsc.Info@tn-sanso.co.jp